

教科名		【教科：社会(地理的分野)】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		東京書籍	教育出版
調査の観点			
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・各章末に、地図を活用した基礎・基本のまとめ、資料を活用した学習、小集団でのまとめの活動などを掲載している。	・各章や節の末尾に、ワードチェック一覧や地図によるまとめの課題があり、基礎・基本の定着を図る工夫がされている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・教科書見開きの両端に、「読み取る」「集める」「まとめる」などの項目で具体的な課題を分かりやすく提示している。 ・各単元の最後には「みんなでチャレンジ」で対話的な活動による課題を設定している。	・教科書の見開きごとに「確認・表現」として、具体的な課題を示している。 ・各章や節の末尾には「意見を交換しよう」で話し合いのテーマを設定し、生徒が意見交換できるように工夫している。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・コラム「スキルアップ」で、基礎的な技能を身に付け、情報を読み取るための24の内容を示している。	・コラム「地理の技」で、基礎的な技能を身に付けるための10の内容を示している。いくつかの資料図では「読み解こう」で情報の読み取り課題を具体的に示している。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・第2章「世界の諸地域」の最初で、地球的課題を考えるためにSDGsを取り上げている。 ・第4章の地域調査でも、SDGsを踏まえた課題の設定とまとめを例示している。	・巻頭の「地理的な見方・考え方」で、SDGsの詳細な内容を説明している。 ・「世界の諸地域」の各州の最初では、各州の単元を通して学習する地球的課題(人口問題・環境問題など)を示している。
B 使用上の 便宜 について	(1) 生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・教科書見開きのタイトルの横に学習課題を大きく提示し、両端には資料の読み取り方やまとめ方、学習内容の補充としての「地理にアクセス」などを掲載し、生徒の自主的な学習に対応している。	・教科書見開きのタイトルの下に学習課題を提示し、コラム「地理の窓」などにより、生徒が発展的かつ自主的に課題解決に取り組めるようにしている。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	・日本の地域的特色の「人口から見た日本の特色」の中では、「建てかえが進む多摩ニュータウンのようす」を写真と共に掲載している。	・身近な地域の調査の「地域の調査課題」の例として、多摩ニュータウンの調査研究とまとめを4ページにわたり詳細に取り上げている。多摩市と八王子市の写真や多摩市の人口構成の変化のグラフもあり、多摩市の地域学習に取り組めるようになっている。

教科名		【教科:社会(地理的分野)】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		帝国書院	日本文教出版
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・各章や節末に、地図とQRコードを活用した基礎・基本のまとめ、キーワード一覧、地理的な見方や考え方を働かせて説明する言語活動を含む学習の振り返りの場を掲載している。	・各単元の最後に、地図を活用した基礎・基本のまとめがあり、「アクティビティ」として対話的な学習活動につながる問いやシンキングツールを示すコーナーも設けている。また、地理的な見方・考え方が教科書見開きの小単元のタイトルごとに示している。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・教科書見開きの右下端にある「確認しよう」「説明しよう」で、学習内容を振り返る課題を分かりやすく提示している。 ・各単元の最後にある「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」では、地図やチャート図を活用して、生徒が自分の言葉を補足してまとめるように配慮されている。	・教科書の見開きごとにある「深めよう」「確認」で、具体的な課題を示している。 ・「チャレンジ地理」では4つのテーマについて、学習した内容を踏まえ、自分の考えをまとめたり意見交換したりできるよう工夫している。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・コラム「技能をみがく」で、基礎的な技能を身に付けるための23の内容を示している。QRコードも掲載され、関連する資料を参照できるように工夫されている。	・コラム「スキルUP」で、統計資料・地図・写真を活用した基礎的な技能を身に付けるための課題を示している。重要な資料には「資料活用」の印を示し、読み取るための課題や作業を設定している。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・巻頭で具体的な活動とともにSDGsの内容を説明し、コラム「未来に向けて」ではSDGsに関連する25テーマを取り上げている。 ・「日本の諸地域」の各地方の学習の最後に、SDGsに関連した内容を発展学習として掲載している。第4部の「地域の在り方」では、「持続可能な社会」という視点で地域調査の課題設定・調査・まとめを行うことを示している。	・「世界の諸地域」の各州で地球的課題として6テーマを設定し、「日本の諸地域」の各地方で社会的課題として7テーマを設定している。 ・「日本の諸地域」の最後にSDGsの内容を深めるため作業や討論などの課題を提示している。
B 使用上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・教科書見開きのタイトル横に学習課題を大きく提示している。多くのページにQRコードがあり、タブレット端末等で関連する写真や動画などの資料を参照することができ、生徒の自主的な学習に対応している。	・教科書見開きのタイトル横に学習課題と見方・考え方を提示している。また、「地理+α」や「深めよう」では生徒が学んだことの確認ができ、主体的に取り組めるようにしている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・日本の諸地域の『関東地方、東京大都市圏の問題と対策』で、多摩市の人口ピラミッド(1980年と2015年)を資料として掲載し、本文ではニュータウンの特色や今後の課題を記述して、生徒が多摩市の地域学習をするために必要な内容を記述している。	・日本の諸地域の「東京大都市圏の人々の結びつき」で、郊外の「衛星都市」や「ニュータウン」について記述されている。